



道からの眺め ROADSIDE SCENERY

お花畑に思いを馳せて——利尻山 (利尻町)

島の中心部に“利尻富士”と呼ばれる利尻山(1721m)がそびえる利尻島。

豊富町側から見る島影は、山を中心に緩やかに裾野が広がり、
その山と海のコントラストが印象的です。利尻山はお花のきれいな山としても知られ、

高山植物の群生地があり、可憐な姿が登山者の目を楽しませています。

この利尻島を望むようにして伸びているのが道道106号。

西側は日本海、東側は湿地性の珍しい植物が自生するサロベツ原生花園です。

時に、丹精して育てた大輪の花よりも、

小さな花びらをつけた野草の方が美しく見える時があります。

厳しい自然を一生懸命に乗り切る強さには、感動すら覚えるもの。

そんな花たちの姿を思い浮かべ海を渡る風を感じながらのドライブも、

また楽しいものです。

『北の交差点』とは…

古来、道が交わるところでは、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。『北の交差点』というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出をめざして、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点 VOL.7

●2000年7月発行

●編集・発行／財団法人北海道道路管理技術センター

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目 東京建物札幌ビル6F

TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578

●制作・印刷／株式会社須田製版